

北星まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第2回

会議概要	
日時	令和7年11月27日(木曜日) 午後6時30分から午後7時45分まで
場所	北星地区センター大ホール
出席者	委員（12名、会長以外は50音順） 中村会長、森副会長、相澤委員、市場委員、小笠原委員、佐藤委員、竹内（仁）委員、田中委員、西舘委員、三上委員、宮津委員、渡辺委員 （欠席者 青塚委員、井上委員、小川委員、工藤委員、後藤委員、白崎委員、竹内（き）委員、土井委員、坂東委員、渡邊委員） オブザーバー 地域まると支援員 事務局 地域活動推進課 小熊主査 北星公民館 五十嵐館長
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 令和7年度の北星地域事業報告
	資料2 北星まちづくり推進プログラム

議事の内容

1 開会

欠席者の報告、配付資料の確認。

中村会長が議事進行。

2 議題

(1) 令和7年度の北星地域事業報告について

資料1に基づき、北星地域の3つの実行委員会である「北星6地区防災事業実行委員会」(三上委員長)、「北星まちづくり地域福祉ネットワーク」(宮津委員長)、「北の散歩道環境保全事業実行委員会」(森委員長)の各委員長から、今年度事業の実施状況について報告があった。事業取り組みへの工夫や事後の振り返りに伴う課題などが述べられ、次年度の取り組みへつなげたいとの発言がそれぞれの委員長からあった。各委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

(2) 令和7年度北星地域まちづくり推進プログラムの更新について

資料2に基づき、各委員から事前に出された意見等について事務局から説明があり、委員で確認を行い、基本的な生活環境の確保等に関し、3項目(公園、除排雪マナー、身近な地域活動の拠点の確保)について、実情に合わせてプログラムを変更することとした。

(3) 旭川市地域自治推進ビジョンの見直しについて

事務局から旭川市地域自治推進ビジョンの見直し状況について説明を受けた。

説明に対する質疑意見等は特になし。

○3つの議題を踏まえ、委員間で意見交換を行った。

委員からの主な意見は以下のとおり。

【委員】

- ・町内会や市民委員会といった地縁組織は活動内容が重なる部分もある。もう少しすっきりした形になればと思う。また町内会への加入依頼については各町内会でもっと積極的に行ってもよいと思う。
- ・コロナ後、まち協を含め地域の活動が再開し、持続しているのはうれしいこと。互助を高めるために地域活動は必要と考える。
- ・地域活動に生徒が関われることは意義のあること。各団体からも多くの声かけがある。可能な限り協力していきたい。
- ・まち協の各取り組みにより、児童が地域に関われる機会を得ている。今後も協力していきたい。
- ・地域の活動に企業も参画し取り組めることは意義深いこと。企業の従業員も巻き込んで進められたらよりよいと考える。また企業においては活動動画を流すなど情報発信面でも協力できる。
- ・町内会加入率は5割程度。加入促進の取組も十分できているとはいえないが、まち協の取組への参加を呼び掛けるなど身近なところから取り組みたい。
- ・町内会行事への参加を呼び掛けるが思いどおりにいかない。同じような課題を抱えている地域も多いと思うので、課題や解決策を様々な交流の場で意見交換していきたい。

- ・町内会が市民委員会から脱退するケースも出るなか、町内会の行事に会員以外へも参加を呼び掛け実施したところ、参加があり効果があった。また若い世代へ役員を引き継いでいくためにも、先を見据えバックアップや育成という視点が必要。
- ・会員以外への呼びかけは重要。壁を作らず、新たに声掛けを行うなど取り組んでいきたい。
- ・若い世帯と高齢者世帯の2極化が進んでいる。デジタル化による効率化も理解できるが、現行の回覧板による繋がりや安否の確認といった効用も大事にしていきたい。
- ・北星まち協の区域は広く、まち協イベントの開催場所によっては、偏りが出てしまうが、案内は公平に行い、開催場所の設定も工夫しながら、活動を広げられたら良いと思う。

3 その他

事務局から、次の2点について説明があった。

- 1、行政提案事業（逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト）の進捗状況について
- 2、次回の日程及び今後の各実行委員会の動きについて

4 閉会